県読連　読書通信　No.35　　2017年（平成29年）９月発行

伝えよう読書のよろこび　広げよう感動の輪



編集・発行　愛媛県読書グループ連絡協議会

平成29年度愛媛県読書グループ連絡協議会 総会並びに読書推進大会報告

「平成29年度愛媛県読書グループ連絡協議会総会並びに読書推進大会」を5月31日（水）、松山市道後姫塚のにぎたつ会館において開催し、県下各地から読書グループ関係者、読書教育関係者、読書愛好者等195名が参集しました。





総会では、今年度の事業計画・予算が承認されました。今後とも、県内の読書グループ活動の相互理解と更なる普及・発展を目指して、日々実践を重ねてまいります。

読書推進大会におきましては、午前に二組の事例発表を、午後からは、長野ヒデ子先生の講演を行いました。

講演会 「絵本と紙芝居のもっとある、ある面白さ！」
講師　長野　ヒデ子　先生

今治市出身の絵本作家の長野ヒデ子先生に「絵本と紙芝居のもっとある、ある面白さ！」と題して、御講演いただきました。文庫活動をしながら最初の絵本『とうさんかあさん』を出版されたことや、『おかあさんがおかあさんになった日』をアーサー・ビナードが英訳するにあたっての様々な努力のエピソードを披露いただきました。また、紙芝居推進協議会会長として、日本で生まれた紙芝居の楽しみ方などをお話しいただきました。







プロジェクター利用による絵本の読み聞かせや紙芝居の実演も多数していただき、講師のユーモアあふれる話に会場は笑いで包まれました。

事例発表「野村地域教育福祉複合施設 “ゆめちゃんこ” ～図書館・児童館・学童保育３館の連携を生かして～」　西予市民図書館野村分館　大野　美樹さん



オープンから3年目の活動報告がありました。複合施設の利便性を生かし、子どもゆめ基金を獲得しての合同企画や、市の各部署と連携したイベントで、楽しく活動している様子について、写真を見せつつ発表されました。

事例発表「読み聞かせでつながる　かがやく笑顔」
読書ボランティアグループ「妻どりぃむ」代表　西岡　礼子さん



絵本読み聞かせ活動について、子どもが通学する小学校でPTA内から発足させ、中学校でも開始し、途中ボランティアサークルへ変更しての十数年にわたる実践について話されました。読書活動は楽しい人生の歩みであることが再確認できました。

脚力尽くる時、山更に好し

愛媛県読書グループ連絡協議会会長　森川　啓子



表題は、宋の詩人・蘇軾（号は東坡居士）の七言律詩「玲瓏山に登る」の一節。葉室麟著「銀漢の賦」で、将監の遺作に添えられた画賛である。それは、天を切り裂き聳える二峰が、互いの偉容を称え天空へ想いを馳せる水墨画。源五は、将監と支え合い辿り着いた風越峠で見た美しい光景を思い浮かべ、「脚力尽くる時、山更に好し」と、静かに読む。詩は、限りある身で無窮の美を追うものではないと結ばれている。

先日、山小屋でこの言葉に出会い、「銀漢の賦」を読んだ時の感動が蘇った。脚力尽きるまで努力していれば、人生において輝かしいものを見ることが出来る。そのことを大自然の中で追体験し、読書の感動がより深まるのを実感した。

『獄門島』のすすめ

愛媛県読書グループ連絡協議会顧問　愛媛県立図書館長　井原　恒久

私は、ひと昔前に書かれた探偵小説をこよなく愛している。特にお気に入りが横溝正史の『獄門島』で、自分勝手に日本ミステリーのベスト2だと思っている（ベスト1は秘密）。皆様も御存知の有名作品だが、何度読み返しても飽きない。当時の農漁村の土俗的な雰囲気や俳句を用いたミステリアスな筋立てなどが相まって、作品全体から醸し出される、あの独特の空気感がたまらなく好きなのである。

『獄門島』に魅了された私は、とうとう聖地巡礼を開始し、最初は岡山県倉敷市の、この作品が執筆された横溝の旧居を訪ねた。また別の日には、作品の舞台とされる同県笠岡市の真鍋島に渡り、本鬼頭の屋敷はこのあたりか、千光寺はこの寺がモデルか、と想像をめぐらせながら島内をさまよい歩いた。秋のうららかな一日、頭の中にイマジネーションがどんどん膨らんできて、至福の時間を過ごした次第である。

たかが本一冊、されど本一冊。読書は本当に人生を豊かにしてくれるものである。

「県読連」とは？

☆名称：**「愛媛県読書グループ連絡協議会」**略して**「県読連（けんどくれん）」**と呼ばれています。
★発足：　1964年（昭和39年）12月に発足しました。今年で設立54年を迎える歴史と伝統のある団体です。
☆目的：　県下の各市町読書グループ相互の連絡と提携を図り、読書活動を推進するとともに、文化の向上・発展に資するよう、日々実践を重ねています。
★会員：　会員数は県下全域に約309名です（平成28年度末）。事務局は愛媛県立図書館内にあります。
☆活動：　スローガンは**「伝えよう読書のよろこび、広げよう感動の輪」**です。
地域の読書グループ活動の相互理解と、更なる普及・発展を目指して、読書推進大会や研究大会・地区集会、講演会などを開催してきました。**平成29年度も、会員を募集いたします。**
★通信：　各地域の活動情報を掲載していきたいと思いますので、原稿を広く募集中です。
お問い合わせは、県読連事務局（県立図書館内）まで。（089-941-1441）